



イイケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 679 回 死ぬときに後悔すること ～ 大津秀一先生の本を読んで

2016.5.1

「緩和医療」というジャンルがある。

癌などの、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者、及びその家族の生活・人生の質を改善するアプローチを専門とする医療のことだ。

この分野で有名な「大津秀一」先生は、東邦大学大森病院緩和ケアセンター長として終末期患者の診療の一方で、緩和医療や死生観の問題等について幅広く講演・執筆活動を行っており、多くの著作がある。2009 年に出版した『死ぬときに後悔すること 25』（致知出版社）は 25 万部を超えるベストセラーになった。いかがなものか…今回はそのご紹介をしたい。

死ぬときに後悔すること25

- 1 健康を大切にできなかったこと
- 2 たばこを止めなかったこと
- 3 生前の意思を示さなかったこと
- 4 治療の意味を見失ってしまったこと
- 5 自分のやりたいことをやらなかったこと
- 6 夢をかなえられなかったこと
- 7 悪事に手を染めたこと
- 8 感情に振り回された一生を過ごしたこと
- 9 他人に優しくなかったこと
- 10 自分が一番と信じて疑わなかったこと
- 11 遺産をどうするかを決めなかったこと
- 12 自分の葬儀を考えなかったこと
- 13 故郷に帰らなかったこと
- 14 美味しいものを食べておかなかったこと
- 15 仕事ばかりで趣味に時間を割かなかったこと
- 16 行きたい場所に旅行しなかったこと
- 17 会いたい人に会っておかなかったこと
- 18 記憶に残る恋愛をしなかったこと
- 19 結婚をしなかったこと
- 20 子供を育てなかったこと
- 21 子供を結婚させなかったこと
- 22 自分の生きた証を残さなかったこと
- 23 生と死の問題を乗り越えられなかったこと
- 24 神仏の教えを知らなかったこと
- 25 愛する人に「ありがとう」と伝えなかったこと